

令和3年7月7日（水）

【研修内容】

4年 社会科 研究授業

「循環する水 ～水道料金（経済性）を視点として～」

授業者 森 清成 先生

【協議の柱】

・よりよい社会の創り手として社会参画ができる子どもを育成する授業になっていたか

【授業の実際】

市民と公共の2つの立場から、水道料金とそれに関連する人的環境や地理的環境、また災害復興に関する状況を知ることを通して、上下水道の課題を見付け、自分たちにできることについて建設的に意見を交流することが本時の目標でした。オンラインで三原市水道部の方に質問を投げかけ、お話ししていただいたのちに、水道料金について家族にどのように伝えるかということについて、自分の立場を明確にして議論する授業となりました。

様々な背景を持った人々が混在して暮らしていて、立場が変われば思いも変わる社会において、よりよい社会をつくるには正解はなく、それを目指すプロセスこそが大切であることを子どもたちが実感・共感することが授業のポイントとなりました。

既習事項を再構成しながら、複眼的に思考できるようにすることが大切であることを学びました。

